

ドレミでダンス DX 故障修理マニュアル

このおもちゃは、以前“アニマルコーラス”という名称だったのが、“ドレミでダンスDX”に変更されたものと思われる。修理依頼数ではトップクラスで、定番おもちゃの一つである。



- ①プリント基板接点の接触不良による不動作。
- ②モーターリード線の接触不良。
- ③電源スイッチの接触不良。 の故障が多い。

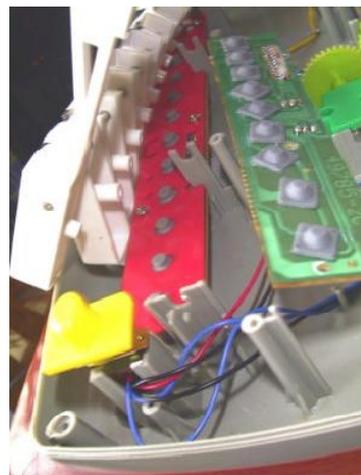


【分解手順】

- ①底部のビスを外し、上部を外す。
プラスチックリングに乗っているスピーカーが、上部にくっついてくることがあるが、基本的には、上部と下部を別々に外すことができる。
- ②音色のボタン（黄色、緑色）の下、キーボード下部のスイッチはプリント基板接点と導電ゴム接点とを組合わせている。導電ゴム接点は上に引っ張れば2本のゴム足が基板穴から抜ける。
- ③キーボード下部スイッチは

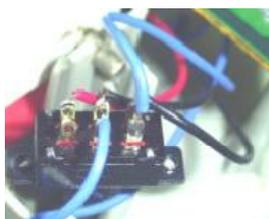


- 1) 音源基板のビスを取り、上にずらす。
- 2) キーボードを固定している赤色の小片のビス2本を外す。
- 3) キーボードを抜き取り、赤い接点板を固定しているビスを外す。
- 4) ゴム接点押さえの赤い板は、下板



に差し込んである足を熱融着してあるので、カッター等で削り取り、上下に割り、ゴム接点を外す。

- ④電源スイッチは双投2回路のスライドスイッチ。凹部に差し込んであるだけで固定されていない。ON、OFFの向きを確認して上に抜く。

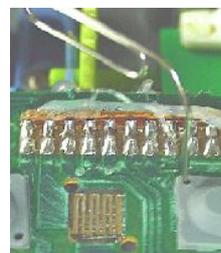


【故障しやすい個所とその修理】

- ①プリント基板接点の接触不良：細かいサンドペーパーで基板接点を磨く。ゴム接点はアルコール清掃、または消しゴムでこすって磨く。
- ②モーターリード線の接触不良：ハンダ付をやりな

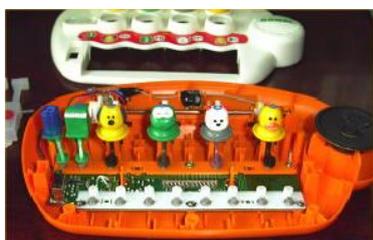
おす。

- ③電源スイッチの接触不良：接点復活剤を吹き付けてみる、それでも効果なければ、スイッチを交換する。（配線色分けに注意）



【再組み立て時の注意】

- ①ゴム接点の足を基板に差し込む時、ゼムクリップを伸ばしたものをゴム接点の穴に入れ、基板の穴に差し込むと簡単。 ↑



同類に“光る・ドレミでダンス”という同社製品がある。スイッチ・スピーカー・モーターの位置が反対だが、分解・修理方法も似ている。ゴム接点は足がない平らなものをプラスチック板で押さえている。

以上